



2/28・3/1

富士山サイクルロードレース2026 青葉通り周辺



①



②



③

今年で5回目の開催となった「富士山サイクルロードレース」。全国各地から多くのチームや選手が参加しました。天候に恵まれ、大勢の観客が見守る中、迫力あるレースが繰り広げられました。選手たちは日本一の富士山の麓で、力強い走りを見せていました。

また、中央公園には、飲食・協賛企業のブースや同時開催の「富士のほうじ茶ブランドマルシェ」のブースが立ち並び、地元グルメなどを楽しみながら観戦する来場者の姿が見られました。

- ①青葉通りを舞台に、約1.8キロメートルの周回コースで順位を競うクリテリウムの頂上決戦が繰り広げられた
- ②「富士のほうじ茶ブランドマルシェ」で、ほうじ茶を振る舞う「富士の茶娘」
- ③大勢の人でにぎわう中央公園内の飲食ブース

3/8

菜の花の里まつり 鵜無ヶ淵公園



春の陽気に包まれる中、吉永北地区のシンボル「菜の花」に親しみながら、住民同士が交流を深める「菜の花の里まつり」が開催されました。

会場には、地区の人が育てた菜の花の品評会や飲食ブースやフェイスシールコーナーなどが並びました。ステージでは、富士市無形民俗文化財の「鵜無ヶ淵神明宮の御神楽」やバンド演奏などが繰り広げられ、子どもから大人まで大勢でにぎわい、笑顔があふれました。

3/7

竹取物語野外上演プロジェクト 北里アリーナ富士



「かぐや姫が帰ったのは富士の山」という伝承が残る富士市。日本最古の物語として知られる「竹取物語」を題材に、野外上演が行われました。これは、SPAC（（公財）静岡県舞台芸術センター）の俳優、布施安寿香さんとともに、市民20人が舞台をつくり上げるプロジェクトとして実施しました。

出演者の、想像力を膨らませながら物語の世界に入り込ませる堂々たる演技に、多くの観客が魅了されていました。

3 / 8

日本語スピーチコンテスト 富士川ふれあいホール



母語が日本語ではない市民を対象に、それぞれの思いや体験したことなどを日本語で発表する場として、毎年、日本語スピーチコンテストを開催しています。

当日は、応募者18人の中から書類選考を通過した、子供の部3人、大人の部7人の、計10人がコンテストに出場し、スピーチをしました。傍聴者は、スピーチする姿を温かく見守りながら、発表者が感じた文化や生活習慣の違いなどについて、理解を深めました。

3 / 8

自然と遊ぼうin広見公園 広見公園ほか



広見地区に住む人を対象に、自然観察と防災炊飯体験を組み合わせた健康イベントが開催されました。

リュウノヒゲの実やノンビルの収穫、タンポポの観察などを行いながら楽しく自然とふれ合うだけでなく、博物館で土器や弥生時代の米について学びました。

また、土器で炊飯や防災ご飯を作ったり、クラフト作品に挑戦したりと、参加者は、地域の自然に親しみながら交流を深めました。

3 / 24

高校生のための企業説明会 交流プラザ



富士・富士宮地区の高校生が就職活動への意識を高め、自身のキャリアについて考える機会をつくるため、合同企業説明会が開催されました。

会場には、様々な業種の地元企業49社が集結し、キャリアトークや企業の動画を通じて自社をPRしました。

高校生は、興味のある企業を探しながら、企業の人話を真剣に聞いたり、質問をしたりする中で、自分の将来と向き合っていました。

3 / 12

日本舞踊入門講座 ロゼシアター



日本舞踊に興味があっても始めるきっかけのなかった人が楽しく体験しながら学ぶことができる、入門講座を開催しました。

参加者は、最初に講師から着付けや作法の説明を受け、浴衣と足袋を身に着けました。その後、扇子の扱い方、立ち方や座り方、歩き方について指導を受けながら実践。

ふだんよりも細かく、意識を指の先まで行き届かせる参加者の真剣な表情が見られました。